

多喜二追悼ウオーク

[治安維持法同盟神奈川本部湘北支部『不屈 湘北版』2013年3月号投稿原稿]

下山房雄

1933年2月20日夕、小林多喜二が築地署で3時間余の拷問を受けて殺される。その多喜二を追悼するウオーキングが、80年後の同じ日、同盟機関紙『不屈』編集委員の藤田廣登さんガイドで行われた。

総勢21人、麻布周辺と築地周辺を、地下鉄麻布十番駅—①称名寺—②善福寺—③山中屋パーラー跡—麻布十番駅〔都営地下鉄〕築地市場駅—④本願寺—⑤築地小劇場跡—⑥前田医院—⑦築地署の経路で歩いた。

多喜二没後三ヶ月の33年5月に生まれた私は、挫けた気持ちに落ち込んだ時、多喜二の百分の一、千分の一でも生まれかわって頑張らねばと奮起したことが今まで何度かある。そういう気持ちの装置をなお強めるべく、健康法の一つとして2011年から貫いている月一回のウオーキングの今年2月分を、『不屈』全国版新年号掲載の案内で知った多喜二追悼ウオーク参加で消化したのである。

麻布十番は、多喜二の地下活動(32年4月～33年2月)の舞台であった。当時は、②(②には、1858年日米修好通商条約＝ハリス条約締結の翌年、アメリカ公使館が創設された記念碑があり、また福沢諭吉や越路吹雪の墓もある)への参詣客でこの土地は浅草に次ぐ東京の繁華街で、市電も至便で利用でき、移動して人ごみに紛れることが容易な土地だった。特高の追及を逃れてこの間に多喜二は麻布周辺で4軒の隠れ家を転々としながら、作品「沼尻村」「党生活者」「地区のひとびと」を執筆し公表もする。

その最初のアジトが②の末寺の一つ①で、多喜二はそこで伊藤ふじ子との結婚生活を始めた。ガイド藤田さんの用意した資料で、澤地久枝が伊藤ふじ子の多喜二との出会い～死別を書いている(「小林多喜二への愛」文春文庫『続 昭和史のおんな』所収)のを知って、読まなくてはと思う。

藤田さん用意の資料の中には、当時の麻布十番商店街の案内図があり、その百軒余商店のうち現存が確認されるのは、角地にある豆源など7軒。32年9月中旬のある日、多喜二が母、姉、弟と会って、党活動への決意を伝えた山中屋パーラーは、表通りから入って裏通りへ抜けられる多喜二向きの構造でもあったが、現存しない。表通りの現在は麻布薬局に代わっている。

さて、築地は多喜二が「東京での第一歩を踏み出し、その生を閉じた地」(藤田さん作成資料の一つ「築地」副題の表現)である。「念仏者九条の会」の事務局がある④の喫茶室で休憩後、まず⑤を訪れる。多喜二上京直後の30年4月4日、日本劇場プロレタリア同盟第2回大会で挨拶を行った場所だ。そして3年後の33年2月10日、赤坂溜池付近で逮捕され、警視庁特高係長中川成夫(戦後、東京滝野川区長、北区教育長、東映取締役の要職歴任 特高はゲシュタポのように戦犯追求の対象とされず警備公安警察の名で継承されもした 日本戦後民主主義の重大限界だ)の現場指揮のもと、⑦で激しい拷問を受けて絶命した。担ぎ込まれた築地署裏

⑥の前田安之助院長の言葉—「連れてきた時はもう死んでいた。死んだ者に注射したって仕方がないじゃないか」—が伝えられている（「赤旗」33年3月5日号）。なお当然のことだが、現在の前田医院の標札にある名前は、安之助ではなかった。子か孫かに代替わりしている。

今回ウオーキングを立案—案内してくれた藤田さんが、築地署傍での解散挨拶で次の機会には多喜二ウオーク杉並馬橋（現阿佐ヶ谷南）編を行いたいと申されました。その機会には是非多勢で参加しましょう!!
（同盟員 海老名在住）

▽以下の文章も、下山房雄さんが読んでアドバイスをした、と記憶するので、同時に掲載したい（編集子）

紹介：大林道子『山本宣治と母多年——民衆と家族を愛した反骨の政治家』
（ドメス出版 2940円）

治安維持法同盟神奈川県湘北支部『不屈 湘北版』10号原稿（2012年10月刊）

海老名やまに平 下山多美子

本書は小説『山宣』（西口克己著）、映画『武器なき闘い』（山本薩夫監督）で知られる山本宣治の生涯を少年時代から、41歳、国権に対する治安維持法反対闘争の最中、極右のテロで抹殺される最後まで、数多くの資料をもとに描く。その目線は、宣治が故郷京都の家族に細やかに書き送り続けた手紙に置かれている。

青年時代カナダで、働きながらハイスクールに通い、三位一体を否定するユニテリアン（注）のキリスト教への開眼から、後年の生物学研究や政治活動の基礎となる豊かな思想を育んだと著者は推察する。

帰国して、三高・東大で生物学を専攻、進化論を中心に研究の後、産児制限運動のかかわりから労働組合、農民組合での講演が多く、官権弾圧の対象になって京都大学を依願退職させられ、以後社会運動に尽くし、第一回普選で労働農民党京都府委員長として当選。第一次共産党員一斉検挙の三・一五事件後、政治的自由獲得同盟唯一の代議士として、最高懲役十年だった天皇制批判と資本主義批判のうち前者を取り出して死刑とするなどの治安維持法第二次改正案を痛烈に批判した。1929年3月5日、前年6月に緊急勅令で強引に実施した「改正」の衆院事後承認への反対討論を強行採決で妨害されて出来なかった日の夜、神田の旅館で極右の黒田保久二に刺殺された。直後の四・一六事件は前年に続く再度の共産党員一斉検挙であるが、その嵐で時代は一層の暗転をする。

全八章から成る本書中、七章「山宣暗殺とその衝撃」、八章「母多年」は、涙をこらえて読み進まなければ頁は動かない。

山宣の長女は詠んだ—「戦死、戦災死、三百万人にさきがけて、邪魔者山宣の抹殺ありき（山本治子）」—。

（2012年10月10日）

（注：編集子）ユニテリアン主義 - 英語：Unitarianism とは、キリスト教で伝統的に用いられてきた三位一体（父と子と聖霊）の教理を否定し、神の唯一性を強調する主義の総称をいう（Wikipediaより）。